

# こだいら NPO ボランティアセミナー



## はじめに

地域に役立つ人材の養成を担う大学にとって地域との連携は近年ますますその重要性が高まっています。学生にとって、行政だけでなく地域で抱えるさまざまな課題に取り組む市民活動を知ることは、地域の課題を理解し、そのための解決策を考える上でも有益です。

2005年に白梅から発信して「NPOと大学生との出会いの場」を武蔵野美術大学、嘉悦大学にも呼びかけて、学生たちと小平市内の市民活動団体との出会いの場づくりを始めたのはそんな思いからでした。幸い人口18万人という小平市に大学は7つもあり、NPOなどの市民活動団体も50を超えて活動は活発です。「NPO法人小平市民活動ネットワーク」と「小平市社会福祉協議会ボランティアセンター」も共催として加わって頂いたおかげで、この取り組みは毎年開催することで定着、後に文化学園大学も加わり、大学生と市民活動との輪がこの10年で一層広がってきました。大学生たちが、大学での学びと若さゆえの力を發揮することで、市民活動にも役立てると同時に学生たちにとっても生きた地域の課題を学ぶことが出来る。その成果を身に付けた学生たちも、今、地域でさまざまな仕事、活動に取り組んでいます。少子高齢社会が加速し、難しい地域の課題も増えています。他の地域にはなかなか見られない、この小平市での市民活動と大学生との協働の輪をさらに広げていくことで、地域の課題解決の一助にもしていきたいと願っています。

(白梅学園大学教授 山路 憲夫)



## インターンシップ型導入の経緯と成果、そして課題

NPOとはどのようなものか。一言で表現するとしたら、「人を、社会を、自然を、大切にするための、人々の現場をもつての模索」であると言いたいと思います。

本セミナーにおいて、インターンシップ型の実習を導入する必要を感じたのは、そうした模索を理解するには、スタッフの立場に立ってせめて2週間、そのNPOの仕事ぶりを体験する必要があるのであって、本学の学生のインターンシップ体験の事例が示すのは、NPOの模索ぶりを感触してつかんできたとはいえると思います。しかし、そのことの言語化の面では不十分な面がまだまだあり、実習学生の体験の積み上げとその言語化のプロセスに教員が、もうすこし随伴し、NPOのスタッフともやりとりを増やす必要があります。

年を経るごとに、受け入れ学生の特性の理解を深めてくださったスタッフに感謝しつつ、そう感じています。

(嘉悦大学教授 内田 和夫)



## インターンシップを導入した際の経緯や大学としての成果

文化学園大学ではインターンシップ型プログラムへの参加を、企業へのインターンシップと同列に位置づけています。学生に幅広いインターンシップ先を提示することで、より具体的に今後の糧となる就業経験を積ませることが可能になりました。インターンシップ型プログラムでは深く長期に渡りNPOと関わるため、ボランティア型での参加よりもNPOの活動について多角的に知ることができます。

(文化学園大学助教 松原 詩緒)



## こだいら NPO ボランティアセミナーのこれから

セミナーを 12 年間継続開催することで、それぞれの大学の個性に応じた地域連携・社会連携・大学間連携・インターンシッププログラムの推進などの可能性が広がった。学生自身にとって、社会の課題を発見しそれに向き合う機会がつくられた。これからは、学生を受け入れる NPO 側の具体的な成果に期待したい。それには事業課題の解決を目的のひとつとして取り組むことも必要だ。大学や中間支援機関がそのためのプログラムづくりにも関わる真のパートナーとしての実力をつけていくことが望まれる。社会の変化に対応する新しい NPO の参加も広げたい。コミュニティにとってよい刺激になるに違いない。

(武蔵野美術大学教授  
こだいら NPO セミナー推進委員会実行委員長  
斎藤 啓子)



6月「大学生と市民活動の出会いの場」  
受入れ団体からのプレゼンテーション  
の後、学生が各団体ブースを訪問

**第 11・12 期 学生受け入れ団体**  
市民活動団体や NPO 法人が学生向けの活動プログラムを用意、  
6 月に学生にプレゼンテーション、7~8 月には各団体のフィールドで  
活動、9 月にその成果を確認します。

団体名 ★はインターンシッププログラムあり	参加年度	
	2014 年	2015 年
NPO 法人 子育てサポートきらら	○	
NPO 法人 こだいら自由遊びの会	○	○
NPO 法人 こだいらソーラー	○	○
NPO 法人 小平ハートピア	○	○
NPO 法人 コミュニティケアリンク東京	○	
NPO 法人 サポートクラブあすなろ	○	○
NPO 法人 春望リハビリセンター六三四	○	○
NPO 法人 小平・環境の会	○	○
こだいら国際プロジェクト S e e d	○	
コミュニティ・サロン「ほっとスペースさつき」	○	○
NPO 法人 あかね会 ゆうやけ子どもクラブ ★	○	○
NPO 法人 だれもがともに小平ネットワーク ★	○	○
社会福祉法人 つむぎ おだまき ★	○	○
社会福祉法人 未来 ★	○	○

**2004 年度、白梅福祉 NPO セミナー「地域を拓く NPO 力を考える」**（白梅学園大学単独事業）に始まり、小平市と近隣で課題の発見と解決に取り組む団体と学生時代を過ごす若い人達との出会いの場づくりに参加してきた。「市民活動の活性化及び地域の発展に寄与することを目的とする」と謳う当法人としては、団体が学生を受け入れることでの気づきや他団体と互いを刺激し合う効果を意識しながら、同時に、若い人のここでの経験が数年、数十年先に本人や社会に良い効果をもたらすこと期待している。この 12 年の社会の変化は大きく、その最先端の一つとも言える事業に変容しつつあることを今自覚している。

（特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク）